



Title	Two-dimensional gel electrophoresis analysis in simultaneous influenza pneumonia and bacterial infection in mice
Author(s)	小佐井, 康介
Citation	(2010-03-19)
Issue Date	2010-03-19
URL	http://hdl.handle.net/10069/25030
Right	

This document is downloaded at: 2020-10-26T19:37:33Z

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 318 号	氏名	小佐井 康介
学位審査委員	主査	由井 克之	
	副査	上平 憲	
	副査	森田 公一	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、インフルエンザウイルスと肺炎球菌の重複感染における重症化に係わる宿主要因を明らかにしようとしたもので、十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 重複感染により肺で特に増加する分子について、2次元電気泳動を用いたプロテオーム解析により同定するなど、新しい方法を積極的に取り入れており、妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 インフルエンザウイルスと肺炎球菌の重複感染において、単独感染に比べて宿主α1アンチトリプシンや好中球関連分子の著名な増加を認め、重症化における好中球の役割の大きさを明らかにした。好中球を標的とした新規治療法の開発など、今後の発展が大いに期待できる。</p> <p>以上のように本論文は肺感染症の病態解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			